

# 適性検査 1

検査時間 9：15～10：00  
(45分間)

## [ 注 意 ]

- 1 「始めてください。」と言われてから、開いてください。
- 2 「始めてください。」と言われたら、「記入用紙」の「受検番号」欄に、  
受検番号を書いてから、始めてください。
- 3 とんりの人と話したり、用具の貸し借りをしたりしないでください。
- 4 ひとりごとを言ったり、わき見をしたりしないでください。
- 5 見にくいところがあったり、ページがとんでいたりしたら、だまって  
手をあげてください。
- 6 鉛筆や消しゴムを落としたときは、だまって手をあげてください。
- 7 「やめてください。」と言われたら、筆記用具を置き、指示にしたがって  
ください。
- 8 問題冊子は全部で4ページです。問題冊子に、【資料】が2枚はさんで  
あります。

【適性検査1】 あなたの考えを、「記入用紙」に書きましょう。

1 高志第一小学校6年生のたろうさんは、先週、学校の委員会活動で、「あいさつ運動」を行い、その活動の振り返りを書くことになりました。たろうさんは、あいさつをされたらあいさつを返すべきだと考えていましたが、自分の声かけに応答してくれない児童がいたことで、委員会活動へのやる気を失い、活動の振り返りを書くことができずにいました。そのときに、図書館で読んでいた本の中にヒントとなる文章を見つけました。

【資料1】は、たろうさんが読んでいた『ゴリラは語る』という本の一部です。

【資料 1】を読み、問 1～問 3 に答えなさい。

問1 【資料1】の ア ～ オ に当てはまる言葉として、最も適当なものを次から1つずつ選び、それぞれ書きなさい。

さらに      でも      また      たとえば      だから

問２ 【資料１】の傍線部<sup>ぼうせんぶ</sup>アについて、①「 」ときの「 」と、  
②「 」ときの「 」とは、それぞれ何か。句読点をふくめ、  
それぞれ３０字以上４０字以内で書き抜きなさい。

問3 たろうさんは、【資料1】の傍線部bが胸にひびき、次回のあいさつ運動を、どのよう  
 に進めていくとよいかについて、委員会の「振り返り」を書くことにしました。あな  
 たがたろうさんだとしたら、どのように書きますか。

次の全ての条件にしたがって、句読点をふくめ 1 6 0 字以上 2 0 0 字以内で書きなさい。

条件1 【資料1】の筆者の考えをふまえること。

条件2 「あいさつ運動を行ったが、自分の声かけに応答してくれない人がいた。」  
の書き出しに続いて、自分の考えを書くこと。ただし、制限字数には、書き出しはふくまれない。

※ 著作権の都合上、別紙の【資料1】及び問題文の一部を掲載していません。

このページに問題はありません。  
次のページに進みなさい。

- 2 高河小学校がある高河地区では、毎年学校と地域が合同で防災訓練を実施しています。6年生のはるたさん、なつおさん、あきこさんは、防災訓練で自分たちにできることを話し合い、新聞記事やインターネットから【資料2】～【資料5】を見つけました。
- 三人の会話文と【資料2】～【資料5】を読み、問1～問3に答えなさい。

はるた： 見て、新聞に【資料2】が載っているよ。大学の留学生が地域の防災訓練に参加したそうだよ。英語の通訳があって、参加しやすかったみたいだね。それから、【資料3】には、地域に住む外国の人が地域の人と一緒に災害時の対応を学んだと書いてあったよ。防災について学ぼうとする外国の人たちも増えてきているようだね。

なつお： そういえば、新潟市が発行した【資料4】を見ると、新潟市に住む外国の人の数がわかるよ。グラフを見ると、令和6年10月末時点で、（ア）人と過去最高を更新したと書いてあったよ。でも、住んでいる外国の人たちにとっては、（イ）や（ウ）の違いから生活をするうえで困ることもあると思うけれど、どうかな。

あきこ： 私のクラスに、（エ）から転校してきた子がいるよ。日本語は練習中みたいだけど、休み時間に一緒に絵を描いたり、おしゃべりしたりして、とても楽しいよ。でも、その子は、給食のときに、宗教上の理由で食べられないものが出た時、とても困ったみたいだよ。非常食とか、避難先での食事は食べられるものがあるか心配だわ。

なつお： （エ）は、新潟市に住む外国人の国籍でいうと6番目に多い国だね。【資料5】を見てみて。外国の人が、日本で生活するうえで困っている事例が紹介されているのだけれど、その中に、（オ）出身の人が地震で避難するとき、どのようなことに困ったかが書かれているよ。

はるた： 防災訓練の日は、避難してから、近くの施設で炊き出し体験や消火器を使った的当て体験をやるよね。外国の人たちも一緒に体験できるといいね。

あきこ： そうだね。アイディアはたくさんあった方がいいね。まず、私たちができることを意見文として書いて、先生に相談してみるのはどうかな。

問1 三人の会話文にある（ア）～（オ）に当てはまる数字や言葉、国名を書きなさい。

問2 クリシュナさんが「大きな地震」にあったとき、どのようなことに困ったか、3つ書きなさい。

問3 あなたも、「災害時、外国の人たちが安全に避難したり、安心して過ごしたりするために、自分たちができること」について意見文を書くことになりました。

活用した資料番号を記入するとともに、次の全ての条件にしたがって、句読点をふくめ160字以上200字以内で書きなさい。

条件1 **【資料2】～【資料5】**のうち、1つ以上の資料の内容をふまえて書くこと。

条件2 自分にできることを具体的に書くこと。

※ 著作権の都合上、別紙の**【資料3】**を掲載しておりません。

## 【資料2】

# 新潟大学の留学生が大学南が丘自治会の 地域防災訓練に参加しました

令和5年6月4日（日曜）大学南が丘自治会主催の地域防災訓練に新潟大学の留学生が参加しました。昨今、地震や水害が多発しているせいか、例年以上に多くの申し込みがあり、当日は20名の留学生が参加しました。

参加した留学生は応急手当やAED、消火器の使い方、濃煙体験など、地域の消防団員の皆さんの指導に熱心に耳を傾け、積極的に各訓練に取り組んでいました。

今年は英語の通訳を介しての訓練だったため、留学生にとって例年より参加しやすく、防災・災害に対する理解がより深まったようです。

※1 AED…けいれんして血液を全身に送れなくなった状態の心臓に対して、電気ショックを与え、心臓のリズムを正常に戻すための医療機器。



消火訓練



AED訓練



応急手当訓練



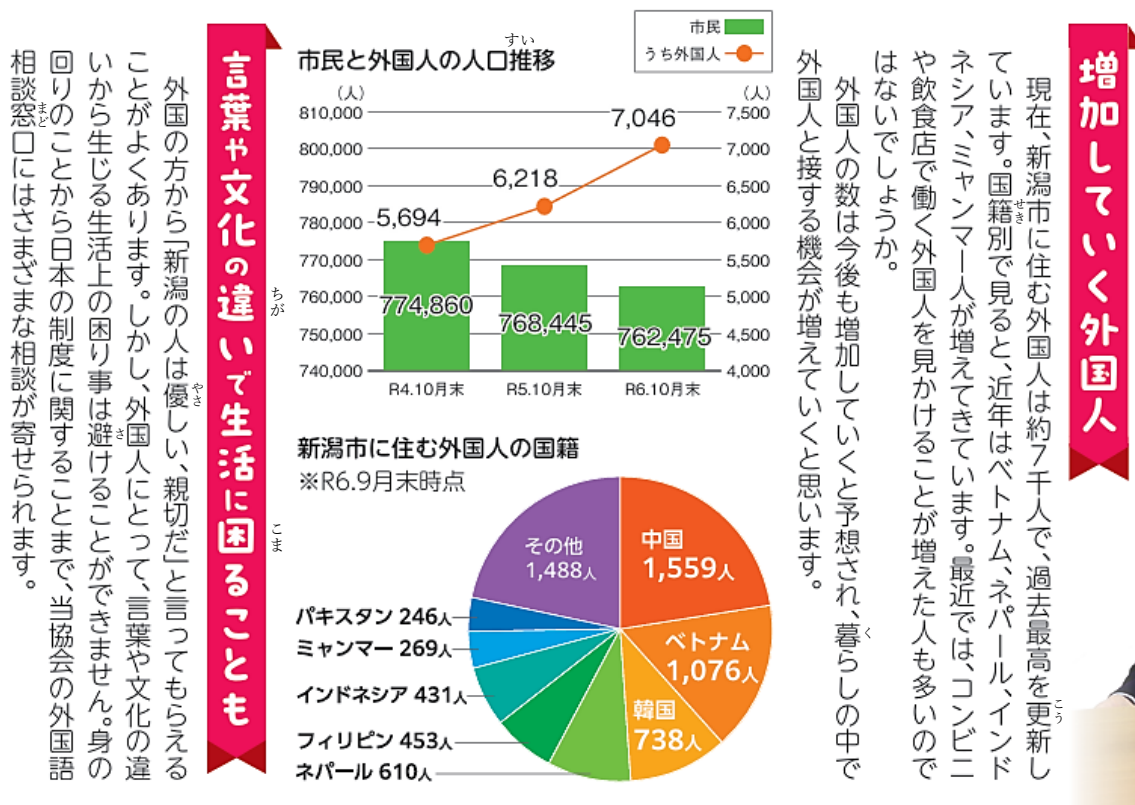
濃煙体験

出典：新潟市ホームページより

【資料 3】

※ 著作権の都合上、【資料 3】の著作物を掲載しておりません。

## 【資料 4】



出典：市報にいがた 令和6年11月17日より



## 【資料5】

### 「災害時の避難<sup>ひなん</sup>所にて」

#### ネパール出身のクリシュナさんの場合

私はクリシュナです。2014年に日本へ来ました。2年間日本語学校で勉強して、今は大学に通っています。

大学生活にも慣れ、楽しく過ごしていたある日、大きな地震<sup>しん</sup>にあいました。あれは私にとって日本で初めての大きな災害でした。日本でよく地震が起こることは知っていました。でも実際に地震が起きたあのときは、何をすればいいのか全くわかりませんでした。

スマートフォンを使って情報を集めようとしたのですが、「緊急<sup>きん</sup>」「避難<sup>ひなん</sup>」「余震<sup>ようしん</sup>」「倒壊<sup>とうかい</sup>」、...意味がわかりませんでした。わからないけれど家の中には怖<sup>こわ</sup>かったので近所の公園へ行きました。数時間後、公園の前を通りかかった人に「避難所<sup>ひなんじょ</sup>へ行ってください」と言われました。

その人と一緒<sup>しよ</sup>に行くとそこは近所の小学校でした。たくさん人がいました。みんな家から逃<sup>に</sup>げてきたようでした。ああ、これが避難所かとその時やっとわかりました。避難所にはいろいろな貼<sup>は</sup>り紙がありました。意味がわかるものもあればわからないものもありました。その避難所には知り合いもいませんでしたから、ただずっと座<sup>すわ</sup>っていました。

夜になると食事が用意されました。近くにいた日本人が「あそこでカレーライスがもらえますよ」と教えてくれました。でも私はそれを食べられませんでした。

出典：「多文化共生って何だろう」（国際協力機構（JICA）九州センター）より